



さんびょう6

三錨VI

本気に 元気に 根気よく

四日市市立富洲原小学校  
学校だより

No. 26

平成30年 2月23日

3学期は、本当にあつという間に日が過ぎていきます。気が付けば2月もあと1週間。いよいよ1年間の総まとめの時期になってきました。

明日の土曜授業では、「6年生を送る会」のリハーサルを見ていただきます。子ども達も、たくさんの保護者の方に見ていただければ、張り合いがあることだと思います。ご都合がつけば是非ご覧ください。



## ◇第5回学校運営協議会

第5回となる、富洲原小学校学校運営協議会（コミュニティスクール運営会議）が、2月20日（火）の9：30から正午ごろまで開かれ、12名の委員の方にお越しいただきました。まずは2限目に、全学級の授業を参観いただきました。その後校長室へ戻り、本年度の教育活動に関するアンケートの結果報告。最後に、本日の参観の感想も含めて、情報交換、意見交流を行いました。そこで出された主なご意見です。



- ・ここ数年関わってきた中では、学校が一番落ち着いている。これまでの先生方の取組みがこういう形で成果となっている。ますますこれから期待したい。富洲原ならではの、風土・文化・人材を活かした一段高い所を目指してほしいという気持ちになりました。
- ・今日の授業でも、意見を堂々と言っている児童が増え、表現力も徐々についている印象を受けた。「教師が出すぎない授業」という合言葉も、徐々に浸透してきているように感じた。
- ・児童アンケートで、「学校生活が楽しい」が増えているのは、とても安心する気持ちになる。
- ・「将来の夢や目標を持っている」という率が高いのも、いいなあと思う。
- ・毎朝、交差点で交通指導に立っているが、私に対するあいさつは、むしろよくなってきていると感じている。
- ・普段あまり会わない、旗当番の保護者の方などには、自分からあいさつできない児童が多いのだろう。
- ・外で元気に遊んでいる子が本当に多く、休み時間を有効に使っているなどと思って見ている。
- ・プロジェクタや大型テレビを使った授業も多かった。学校も時代についていくのは大変だなと感じた。
- ・読書も、あまり増えていないとは言え、自分が小学生の頃を思い出すと、これだけたくさんの子が読んでいるんだと感じる。
- ・「自分にはよいところがある」は、プラス評価は増えているが、マイナス評価の児童も依然ある割合いる。中学校でも同じ傾向があるが、自分に厳しい見方をしているのか、自信がないのか？
- ・校舎内の掲示物が、はがれていたり、学級によって差があったりするので、もう少し配慮してもよいのでは。
- ・アンケートの項目や内容も、もう少し検討してもよいのではないかな。
- ・児童のアンケート結果は、全体としては向上しているのはよい事である。一部だがマイナ

ス評価をしている子がいることにも目を向け、突っ込んだ見方をしていく必要があるのではという気がする。

**貴重なご意見をありがとうございました。学校をより良くするための参考とさせていただきます。**

## ◇2月の生活目標

児童会では、毎月生活目標を立てています。2月の生活目標は次のように決め、各学級で取り組んでいます。

**テーマ：「寒くても外で遊ぼう」**

**①寒くても声をかけあって、外で元気に遊ぼう。**

**②積極的に大きな声であいさつしよう。**



「外で遊ぶ」については、富洲原の子は、季節に関係なく、1年を通して本当によく外で遊びます。寒い盛りの今の季節も、20分休みや昼休みは、運動場が子ども達でいっぱいです。サッカー、バスケ、ドッジ、フリスビー、なわとび、鬼ごっこ、一輪車、遊具・・・。1年生から6年生まで、男女が入り混じり、好きな所で、思い思いのことを楽しんでいます。時には、学級遊びで学級がまとまって遊んでいることもあります。最近では、先日お知らせした、「ホグリセットダンス」の仲間も増えてきました。

富洲原小は、運動場が広く緑も豊か、遊具も周りにたくさんあり、外遊びには魅力的な環境だと思います。外遊びには、体力づくりはもちろん、友達づくり、気分転換など、様々な効用があると思います。時にはもめごとや、小さなけがもあるでしょうが、そうやって学ぶこともあるでしょう。思い切り体を動かした後は、教室での集中力も増し、学習効果も上がるのではないのでしょうか。これからも、授業中と休み時間の切り替えを大事にしながら、自分に合ったやり方で、外遊びに取り組んでほしいと思います。



「あいさつ」については、地域や保護者の方から二つのお声をいただきます。「いつも元気よくあいさつをしてくれて、気持ちがいい」「いつも下を向いて黙って歩いているだけで、あいさつをしない子が多い」どちらかというと、後者のお声の方が多いです。確かに、朝のあいさつなど、元気よくしてくれる子も多いですが、元気がなかったり出来なかったりする子も少なくありません。

そこで、2月の学校集会では、校長から全校児童にあいさつの話をしました。「気持ちがいいとか、うれしかったといった、幸せな気持ちと広げるため、自分から大きな声であいさつをがんばりましょう。」と。それに合わせて、児童会でも2月の生活目標に「あいさつ」を入れてくれました。朝の登校の際には、児童会役員の子が、松原門や天ヶ須賀門にのぼりを持って立ち、率先してあいさつをしてくれています。旗当番の方からは、「いつもより、元気にあいさつしてくれる子が増えて気持ちがいいです。」と、うれしいお声もいただきました。確かに、元気にあいさつできる子が増えました。これが、一時的なことで終わることがないよう、これからもことあるごとに、声かけをしていきたいと思えます。ご家庭でも、「おはよう（ございます）」、「いただきます」、「行ってきます」などの、元気なあいさつから一日が始まれば、その気持ちが、登校途中や登校後にもつながると思います。ご協力をよろしくお願いします。



児童会のあいさつ運動